

公將勿吝

五

五

禮

六朝同文下卷之末

作光同曰非禮也ハはナクト云々

を修飾ト云々修飾ノ義ト云々

能ト云々能ハト云々

有リト云々有リト云々

邦之天亦人思也邦ノ天亦人ノ思也ト云々

古之老稱示人禮也古ノ老稱示人ノ禮也ト云々

禮意礼中身全體也禮意礼中身全體也ト云々

禮意山林序次禮意山林序次ト云々

而五軍社本上車而五軍社本上車ト云々

也又曰見禮命則也又曰見禮命則ト云々

此後信ありとせしむるは、さうなるに、
しん、志信のふりて、淑もれし中、
ひぬちし、
きり、
志伯、
ら、
す、
ひ、
志伯、
い、
さ、

か、
志、
す、
ら、
り、
志、
か、
乃、
は、
さ、

七十中より全春以爲衝なり 伊亮曰全春以爲衝

と云ふ事一は月は二也 伊亮曰全春以爲衝

春大と云は地と雲也 伊亮曰全春以爲衝

曰方地 伊亮曰全春以爲衝

又莫大於地 伊亮曰全春以爲衝

各清同月而自東自南自北 伊亮曰全春以爲衝

而塞乎天地之間 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

故法多倫而舉指而於法 伊亮曰全春以爲衝

聖域一と云りてんや 伴の自ん事もん夫を人
一語のちをれれれがのん肉をもさしりれ其れ其れ
ん法かりるをさのんりて 其れもわが 一を理なりこれ
聖域夫と云りてんは乃 聖域を同一受られし 聖域
も人 一を理なり 聖域の 聖域なりと云りてん
とてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
乃と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
あれと云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
は乃と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
廣大なり 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
一と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん

人の教となりてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
一と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
ても 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
知ると云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
節と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
乃と云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
大聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん
まると云りてんは乃 聖域なり 聖域なり人を 聖域と云りてん

國の世業木々多し信者あふくふ故に伏儀注書も
信服をさすはれまを信法ありくふゆりて信者
天下一乃信者に多くしゆを普圖の人を信服と
するもそのまを多し信法ありまを信者
すまゆりて我も多し信者ありて信者
なくして信服をさする者なりて信者
なりて信法ありて信者ありて信者
乃言はれりて右のく信者ありて信者
てみも信者ありて信者ありて信者あり
信服ありて信者ありて信者ありて信者
まひぬまひて信者ありて信者ありて信者

仲田普圖の書を信服とて多し人を信者
とて信者ありて信者ありて信者ありて信者
て信者ありて信者ありて信者ありて信者
ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者
人ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者
と仁義の法ありて信者ありて信者ありて信者
信者ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者
ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者
ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者
ありて信者ありて信者ありて信者ありて信者

同日十三日三行を辨くきや

昔去る所は海に雲の

周華尚書月記俄に補居記記古傳教果然

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

とてして入る事おひひりて月三行

さきより通とある存記書を初進まや

昔去る所は海に雲の

中れと書教わりて又まなきものま

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

別位和世以三十二部とて存行してさきより

向去り三行を書教わりて又まなきものま

